

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する市の緊急対応を求める提言書

貴職及び執行部各位におかれましては、平素より市勢発展のために尽力いただき、心から敬意を表するところであります。

さて、新型コロナウイルス感染症は急激な世界的大流行（パンデミック）となり、国内においても感染者は増加の一途を辿り、感染症拡大防止のため東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が決定されたのをはじめ、本市においても沼田まつり等が中止決定され、また小・中学校が長期休校とされたり、休業を余儀なくされた店舗や事業所も多々あり、市民生活にも多大な影響を及ぼしています。

市議会においても、沼田市議会業務継続計画（BCP）に基づき災害対策会議を設置し、情報共有に努めるとともに、不要不急の委員会を中止することや議会本会議等傍聴者に対する注意喚起の徹底等、議会としての対応を決定したところです。

これらの状況を踏まえ、安心・安全な市民生活には市の緊急的対応が必要と考え、総務文教常任委員会委員連名のもとに以下のとおり提言しますので、対応についてご検討くださるようお願いいたします。

### 記

#### 1 情報発信及び啓発に関すること

##### (1) 感染者等の風評被害等の防止と情報提供について

市内における新型コロナウイルス感染症患者及び関係者については、地域や地区、関係する職場への勤務状況等により差別的扱いを受ける可能性があるため、風評被害、誹謗中傷、偏見や差別が行われぬよう周知いただきたい。

また、個人情報に影響のない範囲で議会や関係機関及び市民に速やかな情報提供を行い、市民の不要な不安の払拭に努めていただきたい。

##### (2) 市民への感染拡大防止周知について

広報紙やHP、SNS等を通じ「3つの密（密閉・密集・密接）」の防止等について市民への周知がなされているが、未だ感染防止に対する意識が低く集会や伝統行事を従前どおり実施している地域も散見されるため、広報車や防災無線などあらゆるツールを活用し、感染リスクや「3つの密」防止等について改めて広く市民に周知いただきたい。

##### (3) 詐欺に対する注意喚起及び防犯の呼びかけについて

市職員になりすまし、電話やメール、自宅に訪問してキャッシュカードの番号を聞き出すなど、特別定額給付金に係る詐欺事例が報告され、また日中子供だけで過ごしていた家庭において泥棒と鉢合わせとなったという事件もあるため、広報紙やコミュニティFM等で早期かつ継続的に注意喚起願いたい。

#### 2 組織体制及び窓口業務に関すること

(1) 新型コロナウイルス感染症対策専門部署の設置について

新型コロナウイルス関連の相談や各種給付等の問い合わせ先がそれぞれ分かれており、分かりづらいとの訴えが多く聞かれることから、「(仮称)新型コロナウイルス対策係」のような統括する部署を設置し、給付金申請受付及び確認、感染情報収集、感染予防啓発などに当たる専門スタッフを置き、市民に分かりやすく、円滑な対応が可能な組織体制の整備をお願いしたい。

(2) 職員の感染リスク軽減及びメンタルケアについて

行政サービスの提供は窓口における対応が主体であり、透明シート設置などにより飛沫防止対策が講じられているものの、窓口業務に従事する職員の感染リスクは依然として高いため、来訪者へのマスクや消毒液の使用の周知徹底とともに、業務内容や職種によっては現在の2交代制をさらなる交代制に発展されるなどの対応を図られたい。

また、経常業務ではない新型コロナウイルス感染症関連業務が加わり業務の絶対量が増加し、職員に時間的、精神的負担が増大していることから、個々の勤務実態及び体調の把握とともに、メンタルケアについても十分配慮いただきたい。

(3) 市役所業務継続のための組織体制整備について

本庁において業務継続が困難になった場合を想定し、行政サービスの低下を最小限にとどめ市役所業務を継続するため、緊急時には本庁機能の一部を一時的に白沢支所及び利根支所に分散する体制整備の検討を進められたい。

3 支援事業に係る財源に関すること

(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る利活用計画の早期策定及び効果的活用について

国の補正予算により地方に臨時交付金が交付される見込みであるが、国及び県の動向を見定めながら本市の実情に応じた実効性のある利活用計画の早期策定に努められ、速やかな交付金受入と効果的活用をお願いしたい。

また、本交付金のみならず活用可能な交付金等の研究をされ、国・県の支援をさらに要望されたい。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連事業に適応した補正予算編成等について

新型コロナウイルス感染症対策として、中止決定または中止を検討している事業の予算については、本市独自の市民・事業者等支援対策事業への活用を検討されたい。

また、世界規模の危機的状況であることを鑑み、市民や事業者支援のために前例に囚われない大胆な施策の検討や補正予算編成をされるよう求める。

4 市発注工事及び物品契約に関すること

事業者において人員確保や資材調達等に支障を来していることを踏まえ、「地方公共団体の調達における新型コロナウイルス感染症への対応について(令和2年3月3日総行第61号総務省自治行政局行政課長通知)」に基づき、市の調達における工期または納期の見直しや契約金額の変更及び受注者への迅速な支払いについて、

柔軟に対応されるよう求める。

## 5 関係機関との連携等に関すること

### (1) 医療機関との連携及び支援について

利根沼田の中核を成す利根中央病院をはじめとした管内の医療機関について、県と連携のうえ感染者が発生した場合に速やかに収容できるよう医療スタッフの充足状況やICU（集中治療室）の受入可否状況等の情報共有に努められ、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」等による財政的支援が円滑に受けられるよう配意いただくとともに、感染症患者対応に当たる医療スタッフに対する支援策についても検討されたい。

### (2) 利根沼田広域消防及び広域圏高齢者施設との連携について

救命救急搬送に従事する隊員は、感染者も救急搬送する可能性があるため感染防止対策が新たな業務負担となっているが、感染リスク軽減のために必要な情報の提供及び共有に努められたい。

また、広域圏管轄の高齢者施設における施設利用者及び関係職員の感染未然防止のためにも同様に必要な情報の提供と共有を図られたい。

## 6 小・中学校長期一斉休校に伴う支援等に関すること

### (1) 小・中学生の学習の進め方の検討と生活状況の把握について

長期休校により家庭学習が主となり、学力低下や教育格差拡大が危惧されるため、意欲を持って取り組める課題作成や、PC1人1台の体制整備と並行してインターネット環境に適応した学習題材の検討等をされるとともに、個々の学習達成状況の把握にも努められたい。

また家庭での生活が長期に及んでいることから、小・中学生本人や保護者のストレス蓄積も危惧されるため、教職員による定期的な連絡や必要に応じて面談等の実施もお願いしたい。

### (2) カリキュラムの再編検討について

長期休校に伴う学習の遅れは家庭学習のみで補えるものではなく、夏休みを短縮する等の検討が必要と考えられるため、県教育委員会と連携を密にし、学校再開後に円滑に軌道修正が図れるよう研究されたい。

### (3) 奨学金利用者等学生に対する支援について

本市においても奨学資金貸付制度により就学に対する支援がなされているが、急激な経済の後退で休業または失業により収入が得られず、学費や生活費が捻出できず困っている世帯が増加しているため、返還金減免や返還期限猶予について検討されるとともに、日本学生支援機構等の奨学金貸付や母子父子寡婦福祉資金貸付制度等についても返還猶予等の情報を収集し、利用者の相談対応や関係機関との連携に努められたい。

また、他自治体で先行しているように、就学のために本市から離れて生活する学生に対しても、給付等による支援の検討を願いたい。

### (4) 学校給食委託事業者と食材納入者等の支援について

小・中学校の長期休業に伴い給食調理が停止し、給食センター委託事業者の

業務も停止、食材納入者についても食材納入ができず、影響が多大であることから、学校再開時に円滑に給食提供が行えるよう現状の調査及び市独自の具体的支援について早急に検討をお願いしたい。

## 7 その他

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る支援特別基金の創設について

市においても様々な支援対策を実施されようとしていると思われるが、全市民が共助の下にこの「難局」を乗り切る必要があるため、市有施設等に募金箱を設置するとともに、これを原資とした基金を創設し、市民の善意を今後必要な支援対策に活かすことを提案する。

### (2) マスク等の感染症予防物品の確保等について

現在、紙マスクが極端に不足しており、また手指消毒用アルコール等の欠品も続いているが、この新型コロナウイルス感染症対策のみならず、地震等の大規模災害により避難所開設が必要になる場合も想定し、感染症予防に必要なマスクや消毒液等の確保に努められたい。

### (3) 全庁を挙げた「難局」へのスピード感のある対応について

新型コロナウイルス感染症という自然災害による被害のみならず、現在の政治行政システムそのものによる対応の遅さや制限等により人災を含めたさらなる被害を招きかねない。全国知事会の緊急提言を基礎に国等へさらなる支援を要請するとともに市独自の対応策についても早急に検討し、この「難局」に対して全庁を挙げ、スピード感を持って対応されるよう希望する。

また、市議会及び本委員会に対して速やかなる情報提供及び情報共有の配慮を併せてお願いしたい。

令和2年5月1日

沼田市議会議員

(総務文教常任委員)

中 村 浩 二

桑 原 敏 彦

高 柳 勝 巳

三ツ石 岩 男

高 山 敏 也

久 保 健 二

星 野 佐善太